

平成21年10月30日

各位

上場会社名 株式会社 日阪製作所
 代表者 代表取締役社長 村上 壽憲
 (コード番号 6247)
 問合せ先責任者 取締役経営管理部長 小西 康司
 (TEL 06-6201-3532)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,000	2,200	2,500	1,800	55.40
今回発表予想(B)	25,000	1,600	1,800	1,100	33.86
増減額(B-A)	△2,000	△600	△700	△700	
増減率(%)	△7.4	△27.3	△28.0	△38.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	35,092	4,721	5,017	1,602	49.30

修正の理由

通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想は、新興国を中心とする景気回復期待はありますが、第3四半期以降も、国内景気や設備投資動向は低迷が続くものと想定しております。このような状況のなか、資材価格の下落による製品単価の引下げや、競争激化による利益率の悪化が予想され、第2四半期累計期間の売上・利益が計画を下回った事に加え、受注残高減少の影響が第3四半期以降の売上・利益に影響することや、海外の大ロプラントへの売上が減少することから、売上・営業利益とも予想を下回る見通しであります。また、当期純利益には、淀川工場跡地売却による特別利益を見込んでおりましたが、不動産市況の悪化や諸問題等から当期中の売却目処が立たなくなったため、その見込み金額を控除しております。

上記の理由から、平成22年3月期通期業績予想を修正いたします。

(参考)

平成21年3月期決算短信(平成21年5月14日発表)記載の受注計画を修正いたします。

平成22年3月期通期 : 修正前22,000百万円 → 修正後18,000百万円

平成22年3月期第2四半期末受注残高 : 10,922百万円

(注)業績予想は、本資料の発表日現在において、当社が入手可能な情報に基づき判断して作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上